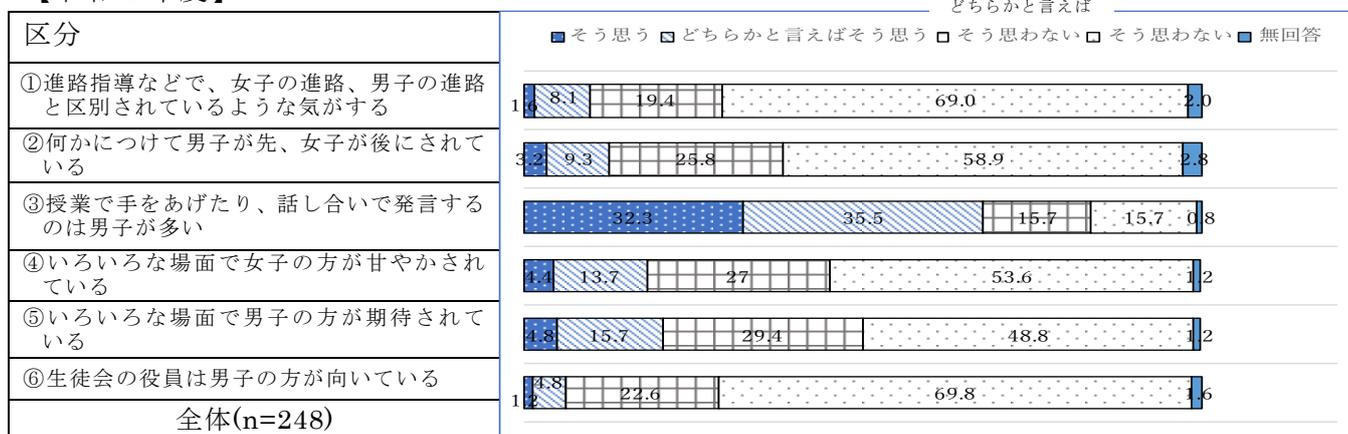


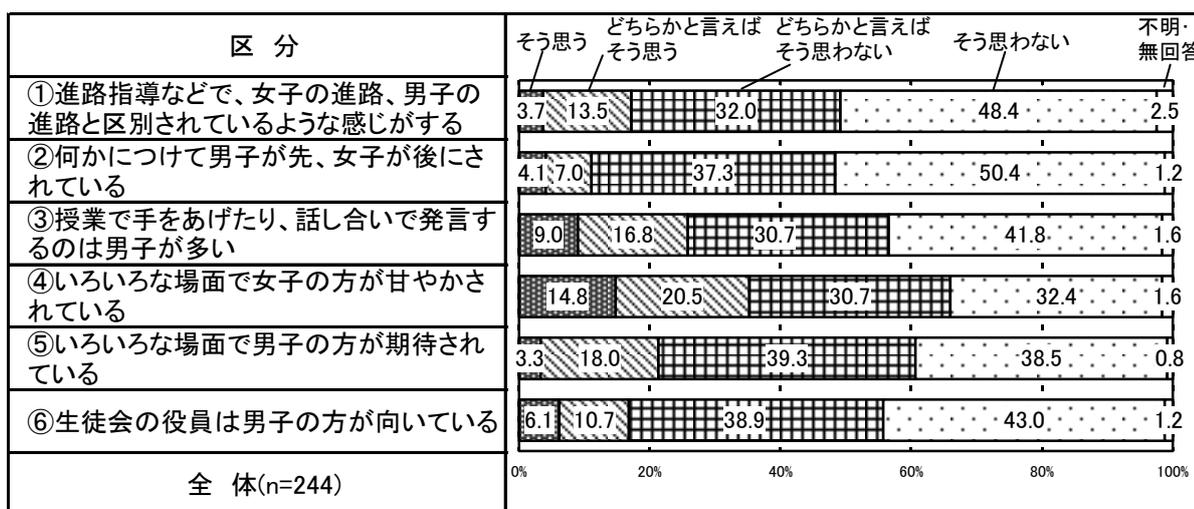
2. 学校生活について

学校での生活について聞きます。あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。
【問2】

【令和4年度】



【平成23年度】



■ 全体的に、性別による区別を感じていない人（「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」の合計）が多く、前回の調査よりその傾向が強くなっています。ただし、男女差の認識が強い項目として挙げられる「授業で手をあげたり、話し合いで発言するのは男子の方が多い」については前回調査より男女差の認識が大きくなっています。

《進路指導》 Q 2-1 進路指導で性別の区別を感じる

【令和 4 年度】

		合計	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		248	1.6	8.1	19.4	69.0	2.0
Q1 性別	男性	101	2.0	9.9	19.8	68.3	0.0
	女性	124	0.8	4.8	19.4	72.6	2.4

【平成 2 3 年度】

		合計	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		244	3.7	13.5	32.0	48.4	2.5
Q1 性別	男性	102	5.9	18.6	33.3	42.2	0.0
	女性	128	1.6	10.2	32.0	53.1	3.1

- 男女ともに、進路指導における性別の区別を感じていない人が多数派を占めています。区別を感じている人（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）は、男子で1割台、女子で5分強と、依然として男子のほうが性別の区別を感じていることがわかりますが、前回調査に比べて男女とも区別を感じている人の割合は半減しています。

《対応》 Q 2-2 何かにつけて男子が先になっている

【令和 4 年度】

		合計	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		248	3.2	9.3	25.8	58.9	2.8
Q1 性別	男性	101	5.0	11.9	27.7	52.5	3.0
	女性	124	0.8	8.1	25.0	62.9	3.2

【平成 2 3 年度】

		合計	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		244	4.1	7.0	37.3	50.4	1.2
Q1 性別	男性	102	7.8	6.9	42.2	43.1	0.0
	女性	128	1.6	7.0	34.4	56.3	0.8

- 全体的に、男子が優先されているとは感じていない人（「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計）が多数派を占めています。男子が優先されていると感じている人（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）は、前回と同様に全体で1割強となっていますが、「そう思う」が減少し、「そう思わない」が増加していることから、全体的に男女差を感じにくくなっている傾向があるようです。

《授業中の態度》 Q 2 - 3 授業で手を挙げるのは男子

【令和4年度】

		合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		248	32.3	35.5	15.7	15.7	0.8
Q1 性別	男性	101	28.7	25.7	21.8	22.8	1.0
	女性	124	35.5	43.5	12.1	8.1	0.8

【平成23年度】

		合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		244	9.0	16.8	30.7	41.8	1.6
Q1 性別	男性	102	12.7	22.5	23.5	40.2	1.0
	女性	128	7.0	14.1	35.9	42.2	0.8

- 男女ともに男女差を感じている人（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）が5割を超えており、全5設問のうち、男女差を感じている人の割合が最も多い項目となっています。また、男女差を感じている男子が5割強であるのに対し男女差を感じている女子は約8割と、男女間での感じ方の違いが顕著に表れている結果となっています。

《甘やかされているかどうか》 Q 2 - 4 女子は甘やかされている

【令和4年度】

		合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		248	4.4	13.7	27.0	53.6	1.2
Q1 性別	男性	101	5.9	14.9	24.8	53.3	1.0
	女性	124	3.2	11.3	29.8	54.8	0.8

【平成23年度】

		合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		244	14.8	20.5	30.7	32.4	1.6
Q1 性別	男性	102	29.4	24.5	26.5	19.6	0.0
	女性	128	4.7	16.4	34.4	43.0	1.6

- 必ずしも女子が甘やかされているとは感じていない人（「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計）が多数を占め、全体で8割を超えています。前回調査では、男子で「女子は甘やかされている」と感じている人（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）が5割を超えており、全5設問のうち、男女差を認識している人の割合が最も多い設問となっていました。今回調査では男女の意識差が大幅に縮小しています。

《期待されているかどうか》 Q 2-5 男子は期待されている

【令和4年度】

		合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		248	4.8	15.7	29.4	48.8	1.2
Q1 性別	男性	101	8.9	15.8	22.8	51.5	1.0
	女性	124	0.8	18.5	34.7	45.2	0.8

【平成23年度】

		合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		244	3.3	18.0	39.3	38.5	0.8
Q1 性別	男性	102	5.9	23.5	42.2	28.4	0.0
	女性	128	1.6	14.1	36.7	47.7	0.0

- 男女ともに、必ずしも男子が期待されているとは感じていない人（「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計）が多数派を占めています。その中でも「どちらかといえばそう思わない」が減少し「そう思わない」が増加していることから、男女差の認識がより一層解消されていることが伺えます。

《生徒会の役員》 Q 2-6 生徒会役員は男子が向いている

【令和4年度】

		合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		248	1.2	4.8	22.6	69.8	1.6
Q1 性別	男性	101	2.0	4.0	21.8	70.3	2.0
	女性	124	0.8	3.2	24.2	70.2	1.6

【平成23年度】

		合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
全体		244	6.1	10.7	38.9	43.0	1.2
Q1 性別	男性	102	5.9	17.6	44.1	32.4	0.0
	女性	128	6.3	5.5	35.9	51.6	0.8

- 「そう思わない」を選択している回答者が男女ともに7割を超えています。「どちらかといえばそう思わない」とあわせると9割を超えます。

このことから、性別役割分担の考え方では男子の役割と考えられがちな「代表」「リーダー」「公的な役職」などが中学生にとっては必ずしも自明なものではないことがわかります。また、前回の調査に比べて男子の回答者のうち、「そう思わない」人の割合が倍増しており、女子でも約20ポイント増加しています。

3. 性別役割分担意識について

1) 性別役割分担の考え方について

「男は仕事、女は家事・子育て」という考え方がありますが、この考え方についてどう思いますか。(○は1つ) 【問3】

《女性》	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
令和4年度 N=124	0.8	8.1	19.4	66.9	4.8
平成23年度 N=128	10.9	33.6	17.2	36.7	1.6

《男性》	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	不明・無回答
令和4年度 N=101	1.0	16.8	20.8	59.4	2.0
平成23年度 N=102	16.7	50.0	11.8	16.7	4.9

■「男は仕事、女は家事・子育て」という考え方についての意見は、男女ともに「そう思わない」人が最も多くなっています。前回調査では、男子で「どちらかといえばそう思う」と答えた人が一番多かった(50.0%)ことから考えると、男子の意識が大幅に変化したことが伺えます。また、女子でも「どちらかといえばそう思う」と答えた人の数が減少し「そう思わない」と答えた人の数が30ポイントも増加しています。

性別役割分担に否定的な人(「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計)は男女ともに8割を超えており、先の生徒会役員に関する設問と併せて、性別役割分担に否定的な認識の人が増えていることが伺えます。

2) 性別役割分担意識にもとづくしつけを受けた経験

あなたは「男だから〇〇」や「女だから〇〇」のように言われたことがありますか。(〇は1つ) 【問4】

《女性》	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	全く言われない	不明・無回答
令和4年度 N=124	4.8	30.6	35.5	28.2	0.8
平成23年度 N=128	19.5	40.6	28.9	8.6	2.3

《男性》	よく言われる	ときどき言われる	あまり言われない	全く言われない	不明・無回答
令和4年度 N=101	4.0	17.8	50.5	26.7	1.0
平成23年度 N=102	16.7	23.5	45.1	11.8	2.9

- 男女ともに「よく言われる」「ときどき言われる」が減少し、「あまり言われない」「全く言われない」が増加しています。周りの大人から性別役割分担意識に沿ったしつけを受ける機会が以前より減っていることが伺えます。
- 『言われる』（「よく言われる」「ときどき言われる」の合計）人の割合は、前回調査では女子で60.1%、男子で40.2%であったのに対し、今回調査では女子35.4%、男子21.8%といずれも減少しています。
- 『言われない』（「あまり言われない」「全く言われない」の合計）人の割合は前期調査では女子で37.5%、男子で56.9%であったのに対し、今回調査では女子63.7%、男子77.2%となっています。
- 女子では前回調査では「よく言われる」「ときどき言われる」の合計が約6割であったのに対し、今回調査では、「あまり言われない」「全く言われない」の合計が約6割と逆転しています。しかし依然として男女間ではポイント数に差があり、男子より女子の方が性別役割分担意識に沿ったしつけを受けている傾向にあるようです。

【上記のうち、「1. よく言われる」、「2. ときどき言われる」を選択した回答者】

2-1) 内容

どんなことと言われましたか。(〇はいくつでも)【問4-1】

《女子》	ことばづかい	服装・身だしなみ	整理整頓	手伝い	食事の仕方	すわり方	歩き方	勉強	テレビ番組
令和4年度	56.8	50.0	25.0	22.7	15.9	59.1	20.5	6.8	6.8
平成23年度	66.2	46.8	37.7	31.2	19.5	51.9	16.9	10.4	3.9

《女子》	友達関係	家に帰る時刻	スポーツ	お金の使い方	泣いたとき	習い事	その他	不明・無回答
令和4年度	20.5	13.6	6.8	4.5	2.3	2.3	2.3	
平成23年度	14.3	22.1	3.9	6.5	1.3	-	3.9	

《男子》	ことばづかい	服装・身だしなみ	整理整頓	手伝い	食事の仕方	すわり方	歩き方	勉強	テレビ番組
令和4年度	9.1	18.2	9.1	18.2	4.5	4.5	4.5	13.6	0.0
平成23年度	22.0	24.4	19.5	26.8	12.2	7.3	7.3	31.7	0.0

《男子》	友達関係	家に帰る時刻	スポーツ	お金の使い方	泣いたとき	習い事	その他	不明・無回答
令和4年度	22.7	0.0	22.7	4.5	40.9	9.1	0.0	
平成23年度	9.8	4.9	34.1	12.2	24.4	-	9.8	

- 女子では「すわり方」が最も多く、「ことばづかい」、「服装・身だしなみ」がつづいています。男子では「泣いたとき」が最も高く、「友達関係」「スポーツ」が同率で続いています。
- 前回調査と比べて、女子では「ことばづかい」「家に帰る時刻」で10ポイント近く減少しています。男子では「勉強」「ことばづかい」「スポーツ」「整理整頓」で10ポイント以上減少している一方、「泣いたとき」「友達関係」で10ポイント以上増加しています。
- 男女差の大きい項目としては、女子の割合が高いものに「すわり方」「ことばづかい」「服装・身だしなみ」「歩き方」「整理整頓」があり、男子の割合が高いものとしては「泣いたとき」「スポーツ」が挙げられます。前回調査と比べて「スポーツ」では男女差が縮小し、「泣いたとき」では拡大しています。
- 「お金の使い方」「友達関係」「手伝い」については、男女差はわずかです。

2-2) 本人の気持ち

あなたは言われたときどんな気持ちがありましたか。(○は1つ)

【問4-2】

《女性》	いやな気持ち がした	その通りだと 思った	何とも思わな かった	その他	不明・無回答
令和4年度 N=44	40.9	11.4	45.5	2.3	4.5
平成23年度 N=77	37.7	23.4	29.9	9.1	0.0

《男性》	いやな気持ち がした	その通りだと 思った	何とも思わな かった	その他	不明・無回答
令和4年度 N=22	17.3	4.5	63.6	0.0	4.9
平成23年度 N=41	17.1	29.3	46.3	2.4	4.9

- 男女ともに、「何とも思わなかった」が最も高くなっており、前回調査と比べて、その割合は女子で15ポイント以上、男子で20ポイント以上増加しています。
- 「いやな気持ちでした」人の割合は、前回調査と同様、女子の方が高くなっています。
- 「その通りだと思った」人の割合は、前回調査では男子の方が高くなっていましたが、今回調査では女子の方が高くなっています。また、前回調査と比べて女子で10ポイント以上、男子では約25ポイント減少しており、特に男子の減少が顕著な結果となっています。
- 以上のことから、性別役割分担意識にもとづく大人からのしつけについて、男子より女子の方が違和感を強く持っているものの、性別役割分担への意識が薄れている傾向にあることがわかります。

2-3) しつけをした人

それは誰に言われましたか。(〇はいくつでも)【問4-3】

《女性》	母	父	施設の人	きょうだい	祖母	祖父	友達	保育所・幼稚園の先生	小学校・中学校の先生	近所の人	親戚	その他	無回答
令和4年度 N=44	79.5	40.9	4.5	13.6	31.8	15.9	20.5	2.3	2.3	0.0	6.8	2.3	0.0
平成23年度 N=77	90.9	39.0	2.6	9.1	29.9	6.5	10.4	1.3	5.2	0.0	6.5	2.6	1.3

《男性》	母	父	施設の人	きょうだい	祖母	祖父	友達	保育所・幼稚園の先生	小学校・中学校の先生	近所の人	親戚	その他	無回答
令和4年度 N=22	54.5	50.0	4.5	13.6	4.5	4.5	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0	4.5	4.5
平成23年度 N=41	68.3	34.1	4.9	19.5	4.9	7.3	12.2	4.9	14.6	0.0	2.4	4.9	0.0

- 前回調査と同様に、男女とも「母」が最も多く、「父」がつづいていますが、「母」の割合は前回調査と比べて男女ともに10ポイント以上減少しています。
- 3番目に割合が高い項目をみると、女子では前回調査と同じ「祖母」となっていますが、男子は前回調査の「きょうだい」から「友達」となっています。「友達」の割合は前回調査と比べて男女ともに10ポイント以上増加しています。
- 男女で比較した場合、女子では、特に「母」「祖母」の割合が男子より高くなっています。「母」の割合は男子に比べて約1.5倍、「祖母」の割合は男子に比べて7倍近く多く、家庭内では年齢が高い人ほど性別役割分担意識に基づくしつけを行なう傾向が強いことが伺えます。
- 女子では「母」の割合は「父」の約2倍となっていますが、男子では、「父」「母」の割合は拮抗しています。
- 学校や保育所などにおける性別役割分担に基づく指導などの影響は、家庭に比べるとわずかであることが伺えます。

4. 進学について

あなたは将来どの程度まで進学したいと思いますか。(○は1つ)【問5】

《女性》	高等学校まで	短期大学まで	大学まで	その他	無回答
令和4年度 N=124	16.1	5.6	73.4	4.0	0.8
平成23年度 N=128	20.3	13.3	52.3	14.1	0.0

《男性》	高等学校まで	短期大学まで	大学まで	その他	無回答
令和4年度 N=101	10.9	5.9	79.2	2.0	2.0
平成23年度 N=102	22.5	6.9	68.6	2.0	0.0

- 希望する進路は、男女ともに「大学まで」と答えた人が最も多く、男女とも7割を超えています。前回調査で男女の差が15ポイント以上あったことを考えれば、男女差は大幅に解消されています。
- 「その他」については、「大学院」「専門学校」「行けるところまで」と前回調査とほぼ同じ内容の回答がありました。

5. 希望する仕事

1) 希望する仕事の種類

あなたは、将来どのような仕事につきたいと思いますか。(○は3つまで)【問6】

《女性》	会社員	起業家、 会社社長	学校の 先生	保育園、幼 稚園の先生	学者、博士	警察官、 刑事	弁護士、検 察官、裁判 官など	消防士、救急 隊、レスキュー ー隊、自衛官
令和4年度 N=124	15.3	0.8	8.9	12.9	3.2	2.4	0.0	0.0
平成23年度 N=128	3.9	0.8	7.8	24.2	2.3	3.1	0.8	0.8

《女性》	医者、 歯医者	看護師な ど病院で 働く人	福祉施設 で働く人	自動車、電 車の運転手	自動車、機 械などのエ ンジンニア	宇宙飛行士	飛行機のバ イロット	客室乗務員
令和4年度 N=124	2.4	10.5	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	1.6
平成23年度 N=128	2.3	8.6	2.3	0.0	0.0	0.8	0.8	2.3

《女性》	スポーツ 選手	歌手、タレ ントなど 芸能人	マンガ家、 イラスト レーター	作家、音楽 家、画家、 デザイナー 等	調理師、コ ックなど 料理をつ くる人	お店屋さん (ケーキ 屋、パン屋、 花屋など)	コンピュ ーター関 係の仕事	マスコミ (アナウン サー、記者) 関係の仕事
令和4年度 N=124	2.4	6.5	11.3	10.5	0.8	8.1	2.4	0.8
平成23年度 N=128	3.9	21.1	7.8	11.7	5.5	15.6	0.8	0.0

《女性》	美容師、 理容師	建設業、大工 など建物、道 路、橋などを つくる人	農業、漁 業、林業	動物園、水族 館、ペットシ ョップ、獣医 など	公務員	その他	なりたい 仕事がない	わからない、まだ考 えていない	無回答
令和4年度 N=124	11.3	3.2	0.0	15.3	7.3	12.9	3.2	23.4	0.0
平成23年度 N=128	12.5	0.0	0.8	12.5	1.6	17.2	0.8	14.8	0.8

《男性》	会社員	起業家、 会社社長	学校の 先生	保育園、幼 稚園の先生	学者、博士	警察官、 刑事	弁護士、検 察官、裁判 官など	消防士、救急 隊、レスキュー 隊、自衛官
令和4年度 N=101	19.8	9.9	7.9	3.0	5.9	5.9	1.0	5.9
平成23年度 N=102	12.7	6.9	10.8	2.9	5.9	6.9	0.0	4.9

《男性》	医者、 歯医者	看護師な ど病院で 働く人	福祉施設 で働く人	自動車、電 車の運転手	自動車、機 械などのエ ンジニア	宇宙飛行士	飛行機のバ イロット	客室乗務員
令和4年度 N=101	3.0	0.0	1.0	3.0	2.0	1.0	1.0	1.0
平成23年度 N=102	4.9	0.0	0.0	3.9	1.0	3.9	2.9	0.0

《男性》	スポーツ 選手	歌手、タレ ントなど 芸能人	マンガ家、 イラスト レーター	作家、音楽 家、画家、 デザイナー 等	調理師、コ ックなど 料理をつ くる人	お店屋さん (ケーキ 屋、パン屋、 花屋など)	コンピュ ーター関 係の仕事	マスコミ (アナウン サー、記者) 関係の仕事
令和4年度 N=101	22.8	2.0	4.0	2.0	3.0	0.0	11.9	0.0
平成23年度 N=102	39.2	11.8	5.9	2.0	4.9	2.9	3.9	2.9

《男性》	美容師、 理容師	建設業、大工 など建物、道 路、橋などを つくる人	農業、漁 業、林業	動物園、水族 館、ペットシ ョップ、獣医 など	公務員	その他	なりたい 仕事がない	わからない、 まだ考 えていない	無回答
令和4年度 N=101	2.0	4.0	9.9	5.0	5.9	13.9	5.9	50.5	
平成23年度 N=102	1.0	6.9	2.9	8.8	5.9	6.9	1.0	12.7	

- 女子では、「わからない、まだ考えていない」が最も多く、「会社員」「動物園、水族館、ペットショップ、獣医など」が同率で続いています。また、「会社員」と回答した割合が前回調査に比べて約4倍に増えている一方、前回最も多かった「保育園、幼稚園の先生」や次いで多かった「歌手、タレントなど芸能人」は大幅に減少しています。
- 男子では、「わからない、まだ考えていない」と回答した割合が最も多く約5割にのぼり、「スポーツ選手」「会社員」が続いています。

■その他として、以下の職業が挙げられています。

【令和4年】

女子：通訳士、YouTuber、テーマパーク関係、マネージャー、テレビ側の人間、芸能人のメイクさん、ファッションスタイリスト、声優、書道家、ユニバのクルー、メイクアーティスト、薬剤師

男子：声優、薬剤師(2件)、気象予報士、考案者、トレーナー、マッサージ、カードショップ店員、YouTuber、プロ棋士、ゲーム関係の仕事

【平成23年】

女子：声優(4件)、音楽関係(2件)、パティシエ(2件)、編集者、通訳、バンドを組みたい、エレクトーンの先生、ダンスの先生、スポーツインストラクター、プライダルプランナー、美容系、ネイリスト・メイクアップアーティスト、インテリアコーディネーター、保健師、科学関係(法医学とか・・・)、グランドアテンダント、モデルなど

男子：ゲームクリエイター(2件)、金融関係、技術者、栄養士、島本町長、野球関係、テニスについて一生かかわれる職業など

不明：跡継ぎ、科学関係、バーテンダー

2) 仕事を選ぶときに重視すること

職業を選ぶとしたら、次のようなことをどれくらい大切に考えますか。(○はそれぞれ1つ)
【問7】

Q7-1 収入が多い

【令和4年度】

		合計	とても大切	まあ大切	あまり大切でない	全く大切でない	不明・無回答
全体		248	44.8	50.0	4.8	0.4	0.0
Q1 性別	男性	101	50.5	41.6	7.9	0.0	0.0
	女性	124	41.9	54.8	2.4	0.8	0.0

【平成23年度】

		合計	とても大切	まあ大切	あまり大切でない	全く大切でない	不明・無回答
全体		244	33.2	57.0	7.8	1.2	0.8
Q1 性別	男性	102	35.3	53.9	7.8	2.9	0.0
	女性	128	32.8	58.6	7.8	0.0	0.8

Q7-2 大きな会社である

【令和4年度】

		合計	とても大切	まあ大切	あまり大切でない	全く大切でない	不明・無回答
全体		248	12.9	49.6	32.7	4.8	0.0
Q1 性別	男性	101	12.9	49.5	31.7	5.9	0.0
	女性	124	12.9	47.6	35.5	4.0	0.0

【平成23年度】

		合計	とても大切	まあ大切	あまり大切でない	全く大切でない	不明・無回答
全体		244	13.1	49.6	32.0	4.1	1.2
Q1 性別	男性	102	15.7	56.9	22.5	4.9	0.0
	女性	128	10.9	44.5	39.8	3.1	1.6

Q7-3 自分の好きなことが生かせる(やりがいがある)

【令和4年度】

		合計	とても大切	まあ大切	あまり大切でない	全く大切でない	不明・無回答
全体		248	80.6	15.7	2.8	0.4	0.4
Q1 性別	男性	101	85.1	11.9	2.0	0.0	1.0
	女性	124	75.8	20.2	4.0	0.0	0.0

【平成23年度】

		合計	とても大切	まあ大切	あまり大切でない	全く大切でない	不明・無回答
全体		244	81.1	14.8	2.9	0.8	0.4
Q1 性別	男性	102	86.3	9.8	2.0	2.0	0.0
	女性	128	78.9	17.2	3.9	0.0	0.0

Q7-4 社会の役に立つ

【令和4年度】

		合計	とても大切	まあ大切	あまり大切でない	全く大切でない	不明・無回答
全体		248	39.1	47.2	11.7	2.0	0.0
Q1 性別	男性	101	40.6	42.6	13.9	3.0	0.0
	女性	124	37.9	49.2	12.1	0.8	0.0

【平成23年度】

		合計	とても大切	まあ大切	あまり大切でない	全く大切でない	不明・無回答
全体		244	43.9	41.8	11.9	2.0	0.4
Q1 性別	男性	102	43.1	42.2	10.8	3.9	0.0
	女性	128	45.3	39.8	14.1	0.8	0.0

Q7-5 休みが多い

【令和4年度】

		合計	とても大切	まあ大切	あまり大切でない	全く大切でない	不明・無回答
全体		248	28.6	48.0	22.2	1.2	0.0
Q1 性別	男性	101	32.7	44.6	22.8	0.0	0.0
	女性	124	26.6	50.8	21.0	1.6	0.0

【平成23年度】

		合計	とても大切	まあ大切	あまり大切でない	全く大切でない	不明・無回答
全体		244	11.5	37.3	40.2	10.2	0.8
Q1 性別	男性	102	12.7	38.2	37.3	11.8	0.0
	女性	128	10.2	33.6	45.3	10.2	0.8

Q7-6 安定して長く続けられる

【令和4年度】

		合計	とても大切	まあ大切	あまり大切でない	全く大切でない	不明・無回答
全体		248	79.8	17.3	1.6	1.2	0.0
Q1 性別	男性	101	82.2	15.8	1.0	1.0	0.0
	女性	124	81.5	16.1	1.6	0.8	0.0

【平成23年度】

		合計	とても大切	まあ大切	あまり大切でない	全く大切でない	不明・無回答
全体		244	72.5	20.1	4.1	1.6	1.6
Q1 性別	男性	102	76.5	18.6	2.9	2.0	0.0
	女性	128	69.5	21.1	5.5	1.6	2.3

Q7-7 育児がしやすいような制度や環境がある

【令和4年度】

		合計	とても大切	まあ大切	あまり大切でない	全く大切でない	不明・無回答
全体		248	60.5	30.2	5.2	3.2	0.8
Q1 性別	男性	101	58.4	30.7	5.0	4.0	2.0
	女性	124	63.7	28.2	5.6	2.4	0.0

【平成23年度】

		合計	とても大切	まあ大切	あまり大切でない	全く大切でない	不明・無回答
全体		244	—	—	—	—	—
Q1 性別	男性	102	—	—	—	—	—
	女性	128	—	—	—	—	—

- 仕事を選ぶうえでとりわけ重視することとしては、男女ともに、「自分の好きなことが生かせる（やりがいがある）」が最も多く、「安定して長く続けられる」「育児がしやすいような制度や環境がある」がつづいています。性別による違いはあまり見られません。
- 前回調査と比べると、男女ともに「休みが多い」ことを重視する傾向に顕著な増加がみられ、「収入」を挙げた割合も増加しています。
- 職業選択の際に重視する項目として「⑦その他」に挙げられていた回答は、以下のとおりです。女子の回答で人間関係に言及している内容が多くみられます。

【令和4年】

女子：「上司がやさしい(3件)」「人間関係が良い(3件)」「男女不平等がない(2件)」「自分が楽しいと思える」「自分に向いている」「人間関係がそこまで険悪じゃない」「職場があまり遠くない」「人を笑顔にできる」「楽しく人が良い」「飲み会が絶対ではない」「仲間が協力してくれる」「ペットと一緒に出勤できる」「決まりが多くない」「過ごしやすい」「ホワイト企業」
男子：「家や駅から近い」「みんなを楽しませられる」「ホワイト企業」「リモートワークができる」「単身赴任がない」「周りが優しく助け合っている」「楽しい」「自分にあった仕事」「良い人間関係」「楽しみながら仕事をする」「定時で帰れる」「近い」「安全」「自分がやっていて楽しい」

【平成23年】

女子：「楽しく続けられる（5件）」「その職業について夢をかなえたい」「自分に出来ること」「かんたん」「誰かに喜んでもらえる」「日本だけの仕事は嫌」「人間関係」「働きすぎにならない」「上下関係が厳しくない」「周りの環境が良い」
男子：「リストラされない（2件）」「バランスのいい収入」「勇気を与えられる」「つらいと思わない」「楽しく仕事出来る」「気が合う友達がいる」「会社からの帰りが遅くない」

6. 結婚について

1) 結婚の意思

あなたは将来結婚したいと思いますか。(○は1つ)

《女性》	したい	したくない	まだ考えていない	無回答
令和4年度 N=124	43.5	5.6	50.8	0.0
平成23年度 N=128	65.6	4.7	28.9	0.8

《男性》	したい	したくない	まだ考えていない	無回答
令和4年度 N=101	44.6	10.9	44.6	0.0
平成23年度 N=102	45.1	3.9	48.0	2.9

■男女ともに将来結婚を「したい」人は4割台にとどまっています。

■前回調査と比べると、女子では将来結婚を「したい」人が20ポイント以上減少し、「まだ考えていない」人が20ポイント以上増加しています。男子では、将来結婚を「したくない」人の割合が倍増し、全体の1割を越えています。晩婚化・未婚化が進行する社会の中で、中学生の意識も変化していることがわかります。

2) 結婚後の生活スタイル

あなたは将来結婚するとしたら、あなた自身とパートナー（結婚相手）の生活スタイルをどのようにしたいですか。（○はそれぞれ1つ） 【問9】

◎自分自身について

	結婚しても、子どもができてでも仕事を続けたい	結婚したら、仕事を辞めて家事に専念したい	子どもができたなら、仕事を辞めて家事・育児に専念したい	子どもができたなら、仕事を辞めて家事・育児に専念し、子どもが大きくなったら、仕事をしたい	その他	わからない、まだ考えていない	不明・無回答
《女性》							
令和4年度 N=124	37.9	3.2	6.5	26.6	0.8	25.0	0.0
平成23年度 N=128	25.8	7.0	6.3	40.6	1.6	18.0	0.8

《男性》

令和4年度 N=101	58.4	0.0	3.0	3.0	4.0	31.7	0.0
平成23年度 N=102	75.5	1.0	0.0	1.0	0.0	20.8	2.0

◎結婚相手について

	結婚しても、子どもができてでも仕事を続けてほしい	結婚したら、仕事を辞めて家事に専念してほしい	子どもができたなら、仕事を辞めて家事・育児に専念してほしい	子どもができたなら、仕事を辞めて家事・育児に専念し、子どもが大きくなったら、仕事をしてほしい	その他	わからない、まだ考えていない	不明・無回答
《女性》							
令和4年度 N=124	58.9	0.0	0.0	4.0	8.1	28.2	0.8
平成23年度 N=128	83.6	0.8	0.0	0.8	2.3	11.7	0.8

《男性》

令和4年度 N=101	12.9	5.9	5.9	18.8	10.9	42.6	3.0
平成23年度 N=102	13.7	18.6	14.7	20.6	3.9	25.5	2.9

■自分自身について、前回調査では、女子では、「子どもができたなら、仕事を辞めて家事・育児に専念し、子どもが大きくなったら、仕事をしたい」が約4割で最も多く、「結婚しても、子どもができてでも仕事を続けたい」（25.8%）を大きく上回っていました。

今回調査ではこの割合が逆転し、「結婚しても、子どもができてでも仕事を続けたい」が4割弱で最も多く、「子どもができたなら、仕事を辞めて家事・育児に専念し、子どもが大きくなったら、仕事をしたい」（26.6%）は大きく減少しており、結婚・出産によるキャリアの中断を希望しない人が増えていることが伺えます。

専業主婦志向の回答（「結婚したら、仕事を辞めて家事に専念したい」「子どもができたら、仕事を辞めて家事・育児に専念したい」の合計）は約1割と低い状況です。

■自分自身について、男子では、「結婚しても、子どもができてもしっかり仕事を続けたい」が6割弱と最も多いものの、前回調査と比べると15ポイント以上減少しています。

■自分自身について、「その他」の回答は次のとおりです。

女子：「子どもができたら家でできる仕事に転職する」

男子：「結婚はしない」「長期休暇をもらう」「家事と育児を両立する」「全て思い通りにしたい」

■結婚相手について、女子では、「結婚しても、子どもができてもしっかり仕事を続けてほしい」が約6割弱と最も多いものの、前回調査と比べると約15ポイント減少しています。

■結婚相手について、男子では「わからない、まだ考えていない」が約4割と最も多く、「子どもができたら、仕事を辞めて家事・育児に専念し、子どもが大きくなったら、仕事をしてほしい」が、2割弱でつづいています。

前回調査では、専業主婦志向の回答（「結婚したら、仕事を辞めて家事に専念してほしい」「子どもができたら、仕事を辞めて家事・育児に専念してほしい」の合計）が3割を超えていましたが、今回調査では1割強にとどまり、結婚や子育てを機に、結婚相手が仕事を辞めることを希望する人が減っていることが伺えます。

■結婚相手について、「その他」の回答は次のとおりです。

女子：「相手の好きなようにすればよい(6件)」、「仕事をつづけながら家事・育児は分担してほしい(2件)」、「仕事は続けて欲しいが、育休を取って欲しい」

男子：「相手の好きなようにすればよい(9件)」、「自分と交代で家事育児をする」、「自分の言うとおりにしてほしい」「結婚はしない」

■専業主婦志向は男女ともに1割前後にとどまっていますが、女子では、結婚・出産後も仕事を続けたいと考えている人が4割弱であるのに対し、男子では、結婚相手に結婚・出産後も仕事を続けてほしいと考えている人が、1割強にとどまっています。前回調査と比べるとその傾向は薄まっているものの、依然として中学生の段階で、女性が仕事を持つことに関する男女の認識の違いがすでに現れており、特に男子で固定的性別役割分担にもとづく選択をする傾向にあることが伺えます。

7. 性別についての自己肯定感

1) 自分の性別についての考え

あなたは現在、自分が男性または女性に生まれたことをどう思いますか。(○は1つ)

【問 10】

回答した理由を自由に記入してください。【問 10-1】

《女性》	よかったと 思っている	反対ならよかっ たと思っている	どちらとも いえない	無回答
令和4年度 N=124	55.6	8.1	35.5	0.8
平成23年度 N=128	57.8	10.9	30.5	0.8

《男性》	よかったと 思っている	反対ならよかっ たと思っている	どちらとも いえない	無回答
令和4年度 N=101	72.3	2.0	24.8	1.0
平成23年度 N=102	75.5	0.0	24.5	0.0

- 「よかったと思っている」人は女子で5割台、男子では7割強と、男女で15ポイント以上の差が開いており、女子の方が性別についての自己肯定感が低いことがわかります。
- 「よかったと思っている」を選んだ理由としては、女子では「今幸せだから、楽しいから（20人）」「いやなことがなかった、自然体でいられるなど現状に満足（7人）」「性別は特に関係なく両親が生んでくれたままでよい、どちらでも良かった（4人）」という意見がみられ、男子では「スポーツができる（13人）」「特に理由なし、なんとなく（10人）」「男子の方が体力がある、生理がないなどの身体的特徴（6人）」といった意見がみられます。
- 前回調査で、女子で「よかったと思っている」理由の上位にあった「赤ちゃんが産める（11人）」という意見は、今回調査ではほとんどみられませんでした。
- 女子で「反対ならよかったと思っている」を選んだ理由としては、「女子は友達関係が複雑（3人）」などが挙げられます。前回調査でも友達関係が上位に挙がっていました。
- 「どちらともいえない」を選んだ理由としては、男女ともに「どちらでもよい（『男でも女でも良いことはある』『男でも女でもあまり違いはない』など）」といった、比較的肯定的な理由が多くを占めています。